

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	問 1	問 2	問 3	問 4
1	<p>原発の安全性について十分理解することができた。</p> <p>残念なことは、一部の質問者が 2 日間とも数度にわたり、自分の持論を展開した質問回数は規制すべきだった。</p>	<p>原子力発電とは地域とのかかわりについて、事業者は地域にどのような貢献ができるか、地域のニーズを把握し行動すべきである。</p>	<p>一日でも早く再稼働すべきである。</p> <p>2 号炉も新基準の適合に早く合致し再稼働を目指してほしい。</p> <p>但し 1 号炉は廃炉に向かって早く表明してほしい。</p>	
2		<p>我が国の原子力発電所の稼働停止による海外からの化石燃料の調達費は 7 兆円にも膨らむ中、温暖化等に対する環境への配慮等総合的に考慮するとき、100 パーセント安全とは断言できないまでも、現時点で可能な限りの安全対策を施し、国の審査基準をクリアーしている原子力発電所は既に現存している設備であり、再稼働させることにより、資源エネルギーの効率的な利用を図ることが国及び各自治体の選択すべきスタンスであると考えます。</p>	<p>平成 23 年に（株）いよぎん地域経済研究センターによると、「伊方発電所が当地域に在る事による経済効果は、67 億円と推計される。」との調査結果が発表されているように、稼働停止による当地域への影響は非常に大きいものがあり、国の安全基準を満たすことを前提に早期の再稼働を要請したい。</p>	
3		<p>再稼働を願っています。</p> <p>悪いたとえかも知れません</p>	<p>国が再稼働について定めた規定をクリアすれば賛成です。</p>	<p>場所も伊方発電所は、人里から離れています。</p>

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

		<p>が、会社が倒産したとします。そこで働いていた人はどうなりますか？家族は？</p> <p>路頭に迷わせるようなことは、してはならないとそう思います。</p>	<p>鹿児島県の川内発電所に続いて伊方発電所も一日も早く再稼働して下さい。</p> <p>万が一の事故のことを考えると、すべての物事が前に向いて進みません。</p> <p>クリア出来れば、それでよしと考えます。</p>	<p>私は、何か地震とか竜巻、台風、他の折に逆に避難場所になるのではないかと考えています。</p>
4	<p>四電さんは、新基準による十重二十重に立ちはだかるバリエーをよく突破し、審査に適合された。</p> <p>規制委員会による、ヒアリングは社運を賭けた壮絶な戦いであつたと想像する。</p> <p>一市民として四電の死守に感謝し、全幅の信頼を持つに至った。</p>		<p>伊方原発 3 号炉が新基準による、原子力規制委員会が実施した「世界一厳しい」とされる、安全対策に関する審査に適合した。</p> <p>技術的にもシビアアクシデントの発生防止と、それを想定した対策に十分信頼に足りうるものがあると確信できた。</p> <p>が、一抹の不安が過ぎる。それは先きの 1-F 事故における東電の組織の運用と展開において、指揮命令系に多くの問題点が浮彫になったことだ。</p> <p>巨大企業は、各部門が分化して、たこつぼ化し、ネットワークが働かず機能不全に陥りや</p>	

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

			<p>すい。</p> <p>そこで、電力会社の風土としての、原子カムラの優位性からの脱却を図ることであり、風通しをよくし、安全文化の風土を構築することにある。</p> <p>そのことが「安全神話」を現実に戻し、原子炉の鼓動を読み取り、常に健康状態に保つことができる。このことによって、技術力（人間）と原子炉の共生が成され我々市民の未来に豊かさを約束してくれるのです。</p> <p>その第一歩は、再稼働に他ならない。</p>	
5	<p>5日の原子力規制庁の説明会は正直、専門的で分かりづらい所があった。</p> <p>厳しい審査の上で合格した事は良かった。</p> <p>又、四電は安全を第一に考え、安全の追求に終わりはないと言っておられたが正にその通りである。</p>	<p>原子力発電所の廃炉作業は、30～40年位続くと思うが原子力発電を今、停止しても、30～40年安全を保てる訳でもない。廃炉作業をいかに早く出来るか、専門家による、国内外を問わず技術の向上を計ってもらいたい。</p>	<p>私は今、停止するのは反対である。</p> <p>厳しい規制庁の審査を受け、四電の災害に対する対応策も万全であると思う。</p> <p>将来的には、無くなるかもしれないが、今はその時期ではないと思う。</p>	<p>使用済み核燃料の墓を早く作る事。</p> <p>八幡浜市民と、四電原子力発電所と、共生して行く事が大事である。</p> <p>相手の足りない点を補い合いながら生活をする事。</p> <p>四電は、市民・県民に目を向け又、市民・県民も原子力発電</p>

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	あらゆる災害に対する対応策が敷地内全体に、配備・整備されていたがさらなる安全性向上へ継続的に行ってほしい。			に目を向け共生し合えば良いと思う。
6	<p>新規制基準に沿った対策は、それぞれ対応され、重大事故の発生防止対策また起こった場合の対策、拡散抑制対策など、ていねいに対処できることが報告されたが、実際に使用前検査の報告も聞いてみたい。</p> <p>国のエネルギー政策は、現時点では良く理解できる。さらなる安全対策と廃炉研究、使用済み核燃料の処分について、少々問題と思えた。</p> <p>防災対策では、対応マニュアルに沿った実際の指揮命令行動が、若干、不安に思えた。</p> <p>全体的には、専門的な用語が多く、理解するのに一般の参加者は難しいのではとも感じた。</p>	地球温暖化現象による気候変動等を観察していると、世界的な問題であり、1国だけの問題ではないと思いつつも、個々の国のエネルギー事業あり、あらゆる面からの安全対策を実施しながら、原発は残し、同時進行で、あらゆる方面からのエネルギーの研究は必要と思う。	地元（県・伊方）の同意が、最重要と思うが、国の覚悟、四電の責任も重ね重ね討議されている。再稼働すべきと思う。	ハード面の対策は、新規制基準に沿った対応が、完全にされていると思うが、ソフト面の訓練や、オフサイトセンターの機能等について知りたい。
7	基本的には再稼働に向けて、絶対、この説明会は地域（八幡	2、3、4⇒まとめて記載します。 原発に関しては、将来的に核廃棄物が発生、その処理方法等、今だに未解決、未決定の部分が		

浜) にとって必要だと判断して
ました。今回、原子力規制庁、
資源エネルギー庁、事業者であ
る四国電力と詳細に関連部署を
分けて説明をして頂いた点につ
いては、正しく原子力発電事業
を理解して頂く点に於いて高く
評価できると思います。

但し、それぞれの説明につい
ては、①原子力規制庁⇒内容が
専門的（規制庁にとっては当た
り前かも知れないが）過ぎて、
説明する方（小野さん？）は最大
限、一般の方にも理解できる
ように説明しているが、聞いて
いる方々を観察してみるとほと
んど理解はできていなかったの
ではないかと思う（後で感想聞
いたら理解は初めから無理と思
っていたとの事）。質問も説明の
中で唯一理解しやすい水素爆発
防止、イグナイターや地震 650
ガルの根拠、再稼働には関係な
いプルサーマル等で議員ばかり
であったのが残念と思った。個

大部分であり、負の遺産を子孫に残したくないと言う意味で原発ゼロを目標にする事はやむを得ない選択だと思うし、賛同します。

但し、現時点に於いて、全国のまだ使用可能な（世界の最新知見を安全性、性能面含めて）原発が実存し、地球規模で考えた時、二酸化炭素 CO2 の排出抑制、また日本国のみで考えると化石燃料の枯渇と、まだまだ基幹エネルギーとして原発を頼り、残さざるを得ないと判断しています。科学がもっと発達し、原発に頼らないでも、電気エネルギー確保ができる時がくるまで全体の 20% 程度残さざるを得ない。

そこで伊方（四国電力）に限って、持論を述べさせて頂くと、機器の状況、設備の耐久性等を考えると 3 号機再稼働は問題ないと思う。3 号機をまずは通常運転に持っていき、長期間の休転、新規制基準対応で安全性に問題ないか確認し 1、2 号機をどのようにするか、判断を下して欲しい。例えば 1 号機を廃炉にする場合、その費用は電気料金に上積せするのではなく、3 号機運転の利益を、その費用に充当する。また、地域貢献（市立病院の維持管理に事業者として加担する）を
するとか、こと原発に関しては企業として営業利益を求めるだけでなく地域と共に生きる「共生」
を考えるべきと思う。

それと、地域（伊方、八幡浜）の方々に理解してほしいのは、新規制基準で仮に 3 号機を運転
に持っていったとし、南海トラフ規模の大地震が発生、津波が来ても、確かに原発は大丈夫だろ
うが、私たちが実際に居住している建物や道路はそのような大地震、津波に耐えられる訳がなく、
街全体が崩壊して原発だけが健全に残るという事態が発生する可能性が大きい、その事をまずは
考えて欲しい。今、声を大にして要求するのは災害時の避難路の確保で避難方法の確立ではない
だろうか。

また、八幡浜の経済面を考えると、市年間予算一般会計約 200 億円その内市税収入は約 37 億円、
約 8% しか自活財力がない。今、3 号機の運転再開による経済波及効果、また高齢者 36% の比率か
らして国からの補助金なしでは市全体が成り立たない。少しでも多くの補助金を有利に導く、ま
た、高齢者に安心して生活をして頂くためにも、国の政策にやみくもに反対するのではなく、バ
ランスの取れた迎合が必要、その為にも原子力事業に協力すべきだと思う。

人的にはもっと基本的な事項⇒
新規制基準は東電福島後、どの
ように厳しく設定されたのかと
か変化したのか、それにどう適
合しているのかとか聞かせて欲
しかった。

②資源エネルギー庁の説明⇒説
明の内容も割と分かりやすく担
当部署としては自治体側の上位
部署として説明して頂いたので
最も自分、個人的には好感が持
てた。質問はこれもまた議員の
みで残念であったが、内容的に
は直接生活に影響する点（電気
料金の地域への反映）等もあり
答えにくいと思ったが、担当の
方が誠意を持って説明され、前
向きに政府が事故や生活補償に
責任を持って取り組む姿勢が感
じられ良かった。個人的には避
難道路の確保や関連して高規格
道路の早期完成要求等原発事故
時のインフラ整備を質問したか
った。

③四国電力の説明⇒直接の地元

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	<p>（伊方町）ではないが、東電福島事故以降、八幡浜市に対する扱いが大きく変化してきた点（無視できない）が明確に感じられ説明の端々に気を使って頂いてる事がわかり、高く評価できる（少なくとも、プルサーマルは反対の自治体で、無視されていた状態とは変化が現れている）。説明自体は規制庁と資源エネルギー庁をまとめて分かり易くした説明であったが、質問でもあったが、事業者にする質問ではなく自治体（市・県）にすべき質問が最も地元としては聞きたい事で（例えば市立病院への地元貢献とか）、電力として、回答に困っていた点も見受けられた。事業者の責任範囲はどこまでなのか、しっかり勉強して質問して欲しいと思ったが、無理かも知れない。</p>			
8	<p>ある市議さん調べていらっしゃるすばらしいと思いました。</p>	<p>国から全国の地方自治体に対する情報提供（自治体が安心出来る為にも良いことだ。）</p>	<p>地域の活力、雇用には必要かと思えます。</p>	

	” 説明では、難しい。 ” 横にいた人もわかりにくい。			
9	<p>8/5 原子力規制委員会の説明について</p> <p>*新規制基準の概要で「福島第一原発事故における教訓」の説明があり</p> <p>*新規制基準の基本的な考え方と旧来基準の説明を受け理解する</p> <p>伊方発電所 3 号機の設置変更に関する審査書の概要と説明の順序が</p> <p>1. 重大事故の発生を防止するための対策</p> <p>2. 重大事故の発生を想定した対策</p> <p>3. 放射性物質の拡散抑制対策</p> <p>*説明が詳しくあったが、専門的でなかなか理解しづらかったが、専門家が審査基準に沿ってチェック、立ち会っていただいたということで納得する。</p> <p>資源エネルギー庁の説明</p> <p>*最近のエネルギー情勢と今後</p>	<p>伊方発電所 3 号機の安全対策について</p> <p>1. 福島第一原子力発電所事故の経緯、原因と対応</p> <p>2. 伊方発電所 3 号機の対応</p> <p>3. 世界最高水準の安全性を目指して</p> <p>の説明があったが、耐震裕度が 1000/650 を下回った場合は、適度実績のある詳細評価を実施—確認結果の説明があった。</p> <p>四国電力さんの説明は判り易く、真摯に取り組まれている事が理解でき、質問にも丁寧に答えられていて安心しました。</p> <p>理由—瀬戸内海に面し、自然災害の少ない地域なので、津波の心配がまず無い場所、高台に設置されているので、地震対応が心配であった。県議会では 1000 ガル設備対応を要請—四電了承は良かった、四電の安全</p>	<p>原発立地 30 km圏内の原発特区に指定を受ける</p> <p>*地方創生政策の支援の下で一次産業が元気になる施策に取り組む</p> <p>*再生エネルギー産業、エネルギー多消費産業の誘致で雇用拡大を図り、定住人口を増やす</p>	

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	<p>の自給見直し *原子力発電を取り巻く状況 *エネルギー政策における原子力発電の位置づけ について説明があった。国のベースロード電源比率は内閣で決定されたと聞くが日本はエネルギー資源の無い国であり、核燃料廃棄物の最終処分場を受け入れる自治体が無い現状ではエネルギー政策は国の根幹になるものであり、ベースロード電源比率を憲法と同じく国民に問い、負担とリスクを理解、納得させる必要があると思う。 *ドイツでは原発は設置しないと決定した、EUの地域性の違いはあるが「トイレの無いマンション」一人は住めない！</p>	<p>への姿勢が伺える。</p>		
10	<p>無知で説明を聞いて勉強になりました。</p>		<p>長年原発によって発展した町です。 当地域の雇用、経済効果を考えると規制委員会の許可を信じて推進に賛同です。</p>	
11	<p>専門的な事は良くわからない</p>	<p>原子力発電の必要性は理解</p>	<p>耐震対策・津波対策について</p>	<p>将来的には、原発をなくすよ</p>

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	<p>が、生の声で説明会が行われた事について意義があったと思う。</p> <p>規制委員会の設置変更許可が出た事、四国電力の取り組みを信用したいと思います。</p>	<p>できたが、使用済燃料の処理をどうするかが早急に行われる様要望したい。</p>	<p>の取り組み等、これで十分であるとは思わないが、現段階では理解できた。</p> <p>伊方発電所による雇用と経済効果の為、一日も早い再稼働を望んでいます。</p>	<p>う努力しないといけないと思うが、現段階では、再稼働を願っている。</p>
12	<p>仕事で欠席でした。</p>	<p>東日本大震災の事例を肝に銘じ全てにおいて万全を期し稼働していただきたい。経済効果より危険要素程大きいことがない様頑張って下さい。</p>	<p>基本的には2と同じですが地元ですからなお痛切に感じます。絶対に万全を期して下さい。地元の危険要素が余り変わらない事からすると今から伊方だけに恩恵が厚くではなく30 km 圏内ほぼ同額にする様要望する。</p>	<p>伊方3号機再稼働がだめにしろ、意見が拮抗し今後の行政の運営が難しくなる事になるのではと思いますが市長の意見として頑張って下さい。</p>
13	<p>説明内容については良かったと思います。もう少し早期に説明すべきと思います。</p> <p>専門的・技術的な点については、我々は、理解できないので、今後、世界的なレベルでの原発のゴミ処理、原発の安全技術の改革を進めて、発展すべきである。</p>	<p>化石燃料の利用における温暖化に対して、原発のエネルギー割合・技術革新を推進すべきである（深刻に考えるべきである。）。 原発による地域経済の振興を推進すべきであり、30 km 圏内の電気料金の30%の減額を政策として推進し、過疎対策、地方創生の活力源にすべきである。</p>	<p>地域振興策は何も提示されておらず、原発の共生する地域づくりに国・県・市が真剣に取り組むべきである。 このままでは、避難計画等の安全対策のみが住民に提示されるだけで、地域振興にはならない。再稼働における地域の振興を考えるべきである。</p>	<p>規制委員会の委員長の総括説明の発言・説明の仕方に説得力がない。国も事故については、電力会社とともに責任もって処理・対応することを十分説明すべきである。</p>

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

<p>14</p>	<p>私も市長と同様、脱原発でい ずれ再びゼロになればと思いま す。しかし、最適なエネルギー ミックス構想の中で、しばらく は最低限の原発稼働は必要だ と思います。</p> <p>産業としての原発がなくなれ ば、日本の安全保障の面でも一 歩後退になりそうだし、学問的 にもその分野の研究や人材が涸 渇しなくなるかも。廃炉以降の 道筋もそうした研究がなければ 解決できないと思います。</p>	<p>確かに、川内原発の稼働前の 酷暑の今夏、電力不足の状態 はありません。原発がなくな ても、CO2 増加による地球温暖 化や高い電気代を日本国民が 我慢すればイイコトではあり ます。長い目で見れば原発があ ろうがなかろうが地方の過疎 化は進行し、原発関係者だけ が住み、元々の住民はいなくな るのでしょうし…</p> <p>あと、地元住民への公平な 「補償」をお願いします。</p>	<p>地震や台風などの天災に対 して福島のような「電源喪失」 にならぬよう、しっかり被害を コントロールできるよう管理 体制の更なる強化をお願いします。</p> <p>1号、2号の廃炉もちゃんと できるよう国家レベルでの取 り組みも上手く行くよう祈っ ています。</p>	
<p>15</p>	<p>私は資源エネルギー庁の説明 会に出席しましたが、わが国の エネルギーのあり方・原発がな ぜ再稼働の必要があるか…等、 マスコミを通じてしか知れな かった点が、直接担当役人から聞 けた事は良かった。</p> <p>さまざまな考え方があろう が、質疑の時間をもっと欲しか った。議員以外の発言も聞きた かった。</p>	<p>みかん生産者の立場として は福島のケースをみると、風評 被害の観点から「みかんとさか な」が心配です。</p> <p>安全対策（森林火災）の為の 樹木の伐採作業を組合の事業 としてやってきた事が、森林・ 林業の厳しい状況のなかでの 組合の事業の展開に寄与する 事ができた。この地域の経済効 果の面からも原発と共に生き る事が求められていると思う。</p>	<p>再稼働して地域の経済波及 効果に期待します。</p> <p>言うまでもないが安全対策 には万全を期して当面のエネ ルギーのひとつとして原発は 必要であると考えます。</p>	<p>原発立地地域として伊方町 だけでは無く、周辺市町の立場 が意見として出せるようにな った事は今回の事故の教訓で あったと思う。</p>

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

16	<p>皆さん、丁寧に説明をされていました。</p> <p>専門的な事は解りませんが、結論から申し上げますと、原子力規制委員会が、伊方発電所 3号炉の設置許可を決定したわけで信用するしかない。</p> <p>もし事故が起った場合には、国が全責任をもつのであれば私は再稼働は致し方ない。</p>	<p>エネルギー政策については、国が基本方針を出しており、その中で原発依存度を可能な限り低減させる方向を示していますが、将来的には全廃の方向で取り組んで頂きたいと思えます。（使用済燃料の処理、最終処分の問題を最優先課題とし解決していかなければなりません。）</p>	<p>国が全責任をもって対応していくという事であれば、再稼働については賛成です。</p>	<p>伊方発電所構内での安全対策はできましたが、発電所周辺の道路（橋・トンネル）の安全対策も含めて、国が早急に点検・整備をして頂きたい。</p>
17	<p>8/5日は出席できなかったもので、わからない。</p> <p>8/6日については、規制委員会による厳格な安全基準に対応する為に、四国電力さんも努力されているとは思った。</p> <p>中々、細部に渡っての理解ができたかどうかはわからない。</p>	<p>なるべく早い時期に廃止する努力を望んでいる。</p>	<p>将来的には原子力に頼らず、エネルギーの確保ができることが望ましいとは考えているが、地域の経済、雇用の面において即時廃止という判断も難しいのかな？とも思っている。</p> <p>現時点においては仕方のないことなのかな？という考えの方が強い。</p>	
18	<p>元々基本的な設計を分かっているないので改良しようがそうなんだと思うだけで、議員さんは皆さん、それぞれ勉強されているので、いろいろ質問されていたが？しょせんプロじゃないの</p>	<p>私は農業を仕事としていません。本当は反対ですが産業としては、早く動かして欲しいです。しかし、廃炉の後をしっかりとお願いしたい。</p>	<p>自信があるのならば、早く動かして欲しい。産業的にも。しかし、廃炉後の政治決断を早く出して欲しい。</p>	<p>プルサーマルに対しては？である。</p> <p>放射性廃棄物の最終処分を国が早く決定して欲しい。運転スタートに内閣の決断（決定）が欲しい。</p>

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	で… 私は質問する事自体が分からなかった。			
19	市議会議員以外（出席者）の意見を聞くことができればよかったのでは…	新規制基準に基づく緊急時対策所や、津波対策の水密扉・電源車などを見て回ったら、地震・津波・電源確保に対して揺れや水素爆発などの安全対策が進んでいると感じた。	福島原発の事故を受け、同様な事故を起こさないように様々な対策を講じていますが、新たに設置した設備について確実な移動・操作ができるよう教育の徹底、万が一を想定した訓練を継続的に行うことが大事である。	
20		もちろん安全性の確保が必要であるが、現在の世界の状況の中で我国のエネルギーの確保は、最優先事項であると考えています。国民の生活また企業の活動の源は、安定的なエネルギーの確保に基づく事によって成立していますので、国家として、エネルギーの選択の幅があれば、政治的なカードとして使用できるのでは。 cf.日本は他国より、石油等を輸入し、それを基に活動しています。石油危機等の起こる可能	安全性が確保されているのであれば、再稼働は認められる。	

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

		性もあるのでは。		
21	<p>8月5日のみの出席で、6日は欠席しております。</p> <p>専門的な事でありあまり解らない部分が多いが、専門的見地から検討されているように思われました。</p>	<p>原子力に関して、原子力発電は高度な原子力技術が必要とされ日本が世界の中で原子力工学を活かしていくためにも世界からとり残されないよう、最低限の原発稼働は必要と思う。</p>	<p>安全性が確保されていれば、私は専門的なことはよくわかりませんが、再稼働してもよいと考えます。</p> <p>安全第一＝100%以上 情報公開＝早く、正確に</p>	<p>万が一の事故の責任は、国と四国電力で持ちますとはっきりすべきであると思います。</p>
22	<p>新規制基準については、専門的で技術的な内容が多く、耐震裕度〇〇ガルの意味さえ分からない一般人が1、2時間の説明を聞いても‘ふーん’と思うだけで、理解できない部分が多かった。</p> <p>四国電力の安全対策については、内容はある程度理解できたが、原発を設置運営する当事者の説明であるから、都合の悪いことには触れてないのではと思われる。</p> <p>利害関係のない社外や公的な立場の専門家も出席して説明した方が信用されるのではないかと感じた。</p>	<p>現実問題として即廃止は不可能であるが、将来的には原発は廃止すべきと思っている。</p>	<p>規制委員会の委員長が‘厳格な安全審査を進めてきた。福島のような事故は起きない’と明言していることを信用するしかないが、世の中絶対ということはない。もし不測の事態が発生した時には、一株式会社である四国電力が責任を取れるわけがないので、国が全責任を負うということを確認にすべきと思う。</p>	<p>自分が居住している地域に原発があること自体、賛成する人はほとんどいないと思う。まして再稼働となるとなおさらである。</p> <p>原発を受け入れるのは、間接的、直接的に雇用や経済的なメリットがあるからであり、隣接市にも伊方町に準じる直接的な恩恵があるべきではないか。</p>

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

23	<p>細かな審査の内容や想定される事故への対策が項目別に説明なされて事故防止に十分な配慮をしていることが理解できました。翌日は何故原子力発電が現在必要かとの説明であったと思いますが、将来において経済面でも環境面においてもより良いエネルギーが確保できるまでは安全第一に稼働可能な原子力発電は重要なエネルギーとして頼る必要があるとの説明であり、その考え方は理解できる。福島での事故を教訓として安全対策のみならず従事者の教育や訓練に力を入れて最高水準の安全を目指している国及び四国電力の姿勢と熱意が感じられました。</p>	<p>事故対策の説明にあった航空機事故（テロ）やミサイル事故（テロ）等の説明が防犯上の理由によって詳しくは説明できないとの事であったが、現実的には発生する可能性のあることなので公表はしなくても十分な対策は講じていただきたいと考えます。</p>	<p>万一事故が発生した場合、近隣に住む住民としては、どのような行動を取るべきか具体的に分かる資料があれば良いと思います。携行品や避難ルート（複数）、その際に注意しなければいけない事、そして自力での避難が困難な場合の対処法なども行政、防災機関、住民組織、そして四国電力が協議して可能な限り住民に周知すべきと考えます。医療の面においては拠点病院となる八幡浜市立病院は住民が安心感や信頼の持てるような設備や医療技術を確保すべきと考えますので、地域貢献として四国電力の協力も話し合うことも大切ではないかと思います。</p>	
24	<p>各説明で、重複部分があったことはやや残念だったが、詳細な部分まで説明いただき、とても解りやすかった。</p>	<p>より厳しい基準に合格し、より安全性の高い原子力発電所となるのは良いが、あとはそれを確実に運用していく努力を惜しまず、絶対に事故を起こさないという意識で全力で取り</p>		

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

		組んでいただきたいです。		
25		現在、原子力発電は必要なものであると思う。しかし、資源や廃棄物など解決しきれていない問題もあるため、原子力発電の問題点の解決や新たな発電の開発、また既存の発電の改良など、よりよい結果を得るための行動を進めて欲しいと思う。	規制に沿った安全対策、またそれに基づく管理を行うのであれば、再稼働もいいと思う。安全対策の内容については分かりにくい部分も多く、詳しく知りたい所もあった。安全対策だけでなく、周辺への万が一の事故の場合の行動の基準や、練習訓練などの対策も充実させて欲しい。	
26	原子力規制委員会、経産省資源エネルギー庁、四国電力（株）ともに経緯を含め説明も丁寧でわかりやすかったのですが、事前に資料等を配布していただければ、更に理解は深まったと思います。（説明会后資料は活用できましたが…。） 上記の件と関係しますが、当日の質問も市会議員の方々が主で事前に質問の受付や資料を受け取っていると一般の方の質問も増えていたのではと思われます。	何よりも人命第一で「安全」なる事は、誰もが一致するところだと思いますが、その命を豊かで充実させるためにもたらせる文明の利器としての物を駆使しながら現状の電力コストを引き下げ、原子力発電の依存度を計画的に引き下げていく事が良いのではと考えます。	今回の説明会で繰り返された安全への取組でも100%安全と言い難いという状況の中で、四国電力の対象設備の全てについて、概ね1000ガル程度の地震動に対して、耐震裕度を確保できることを確認との報告は、安心できると感じたものでありました。問2でも申しましたが、未来に向け原子力発電依存度を下げる前提の中で前向きに考えて良いと思いました。	今回の説明会・同配布資料の内容について、知らない市民も多いと思います。更なる広報の推進を希望致します。

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	<p>質問についても 1 人が数度されておりましたが、ルールづくりが必要とも感じましたし、傍聴者（一部）のマナー違反も気になりました。</p>			
27		<p>原子力発電が停止して、代替エネルギーとして、火力発電等が行われています。それも仕方ない事でしょうが、地球温暖化、オゾン層の破壊の拡大に拍車がかかり、ますます環境も悪くなってしまっているのでは？と心配です。</p>	<p>再稼働されるという事で、もう雇用も拡大してきている様ですし、地域には、多分に貢献できるのではないのでしょうか？いろいろ言っても、やはり、電気代も高くなってきますし、十分に検討されて、安全・安心な生活が出来る様な対応をお願いします。</p>	
28	<p>原子力規制委員会の『3号炉設置変更に関する審査書の概要』についての説明</p> <p>地震、津波等に対する対応の整備</p> <p>それぞれ数値を上げたが、伊方は厳しい基準をクリアしているとの説明</p> <p>ただし、委員長がマスコミ等に言っている通り、絶対の安全はない。また、リスクは伴うと</p>	<p>私の原子力発電に関する基本的な考え方は、消極的賛成理由・条件</p> <p>現在、石油の価格が低くなっているが、これは OPEC の事情によるものであって今後も続くかどうか分からない。日本の産業のことを考えると現状では必要最小限の原子力発電の稼働は必要。</p>	<p>この後、工事計画申請が出され、認可、再稼働となっていくと思われるが、大地震の発生だけでなく、様々な事情により機器等に不具合が出ることも予想される。その際、誠実に県、市、住民に公表することを求めたい。軽微なことであっても、包み隠す体制が最も悪い。このような体質があれば即刻稼働中止を求めたい。</p>	<p>2日間、原子力発電に関する学習を積み、大変参考になったがもっと多くの市民に学習の場を提供できればよいのと思う。もちろん、賛成・反対の色が強い問題だけに行政のみが計画することは難しいと思う。</p> <p>様々な方法で、より多くの市民の声を把握し、再稼働に対する八幡浜市の見解を決定して</p>

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	<p>の発言のとおり、地震、津波の発生は太平洋側を想定しており、伊予灘、周防灘を震源とすることも十分考えられ、危険性は排除できない。</p> <p>現に、東日本大震災、原子炉爆発放射能汚染によって、生まれた地域から追い出され避難生活をされている方があり、完全な廃炉処理には40年かかるとのこと。このことに鑑み、もっと謙虚に話をしてもらいたかった。</p> <p>伊方発電所は、全国的に見ても、先進的に地震、津波の対策を進めていることが分かった。</p>	<p>ただし政府には、原発0の目標を明示し、真剣に水力発電、再生可能エネルギー発電に積極的に取り組むことを求めたい。</p> <p>原子力発電を進める四国電力には、誠実な対応を強く求めたい。</p>		<p>もらいたいと思う。</p>
29	<p>8月5日の説明会は、欠席し、8月6日の説明会に出席いたしました。</p> <p>伊方発電所3号機の安全対策について</p> <p>エネルギー政策における原子力発電について説明を受けましたが十分に理解することが出来ず残念に思っています。</p>		<p>やはり安全・安心についての不安が残ります。</p> <p>安全・安心の向上を今以上に目指して取り組んでほしい。</p>	

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	<p>3号機の再稼働については、規制委員会の審査の許可が出ているので再稼働はやむを得ないと考えていますが、福島での原発の事故を考えると安全・安心についての不安があり、複雑な気持ちでした。</p>			
30	<p>原子力規制委員会の説明内容は、専門的で理解しにくいところがあった。一般人にとっては、仕方のないことだとは思いますが…。</p> <p>資源エネルギー庁、四国電力は、誠意をもって説明しており、参加者に理解を求める姿勢が伺われた。</p>	<p>願わくは、万一の危険を考えると、原子力発電は、なくした方がよい。</p> <p>しかし、産業全般、地域活性化など多面的に考えると、再稼働も致し方ない。</p> <p>自然エネルギーの開発、活用に力を注ぐと良い。</p>	<p>再稼働による地域の活性を大いに期待するが、何よりも安全が最優先である。その上での稼働は致し方ない。</p> <p>日々の情報提供を怠ることなく正確に行うこと。</p> <p>万一の事故に備えた避難道路（松山道に接続する）の早期実現に向けて全力を尽くしてほしい。</p>	
31	<p>専門的な内容であり、どこに問題点があるのか不備があるのか、本当に安全なのか、安心に思っているのか理解出来る程の知識を持ち合わせてないので、資料をめくるだけの過ごし方になり、納得出来る説明だと感じた方は何名いるのかと思ったの</p>	<p>発電が低コストであり温室排気ガスを出さない点は他の燃料と比較して一目瞭然であり優位性は否定しない。</p> <p>しかし、高レベル廃棄物の処理・福島での原発事故での環境汚染・健康被害を一度知ってしまったと脱原発・廃炉へ向けての</p>	<p>八西管内の経済の停滞を再稼働・雇用の拡大で活性化を計って欲しいという声が多いのは理解できる。しかし、電力不足がない状況・南海トラフ大地震の発生が懸念される中、絶対大丈夫はないと思う。原発依存から脱却して、新しい町づくり</p>	

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	<p>が率直な感想です。</p>	<p>施策を早急に進めて行く事が、代替エネルギー開発へのさらなる取り組みが、現在に生きている者の努めだと思えます。</p>	<p>に取り組み、みかんと魚と豊かな自然を守る事、安心して暮らせる事の方が大切に思うし望みたい。 原発誘致で市や町が豊かになった実感はないし、誘致しなかったら、今以上にさびれているという論理には納得出来ない。</p>	
<p>32</p>	<p>8/5 3号炉の審査書の概要は小野氏の説明で始まりました。 シビアアクシデントの防止の基準が想定外の自然災害に対応できていませんでした。福島第一原発事故はその総てが基準外の出来事なのですから住民目線での話ではありませんでした。 もし委員会メンバーの方が周辺住民だったら自らの財産を守る意見での基準を作るべきです。 8/6 四電の説明は原子力の位置付けとコストの事ばかりです。 我田引水としか言い様がありません。安全なエネルギーが高</p>	<p>廃炉か休炉にしてください。</p>	<p>①、②の理由により再稼働はなく、休炉にしてください。 川内や他の炉が稼働して、災害にあっても安全だと確信するまでは伊方は休炉にしてください。</p>	<p>説明会には相手方と対応できる位の専門家を同席させるべきです。国も会社（四電）も身内だけで事を計りすぎです。「転ばぬ先の杖」「後悔先に立たず」先人の知恵に学ぶべきです。</p>

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	<p>価なら住民としては仕方ありませんので支払います。「安全はコストではありません」</p>			
33	<p>①説明していただいた方があまり専門的な「言語」を使われていたので一般庶民は理解出来ていないと思う。</p> <p>②保内町で実施したが、人口から考えれば旧八幡浜市で実施すべきではなかったのか。</p> <p>③意見、質問が少なく、内容のある説明会にはならなかったのでは。</p> <p>④参加者数があまりにも少なく思えた。</p> <p>※トータルで考えると、この説明会で再稼働に向けた市民の理解は深まったとは思えない。</p>		<p>3号機の安全基準は、新規制基準に適合しているという事であるが、私たち一般市民には、専門知識があるわけではないので信用するより他にはないのかと、ある程度納得はしている。しかし、伊方原発は3号機だけでなく1号機、2号機があるわけで、東日本大震災と同規模、いやそれ以上のものが来た場合、あと8年くらいで使用済燃料プールがいっぱいになるのに、国の最終処分計画は全く進んでおらず、今回の説明でも20年以上かかる説明であり、そうなると、プールが満杯となった後は再び停止するのか、又は、1号機、2号機のプールへの移送というさらに危険を伴う計画となるのか。説明のない状況で、原発の危険という事だけを考えると現時点で</p>	

			<p>の再稼働には疑問を持つより他はない。</p>	
<p>34</p>	<p>正直なところ、あれが住民に対する分かりやすい説明と言えるのか、大いに疑問を感じました。というのは、短い時間に、たくさんの情報を、しかも普通の人には理解できない専門用語を解説もなく使って、聞く人をけむに巻くような、分かつが分かるまいがお構いなし・・・ただ、しゃべり続けるだけ。あまりに、住民を無視した説明に、あきれ果てた感じです。</p> <p>しかも、質問に対して、根拠も示さないまま一方的に結論だけを押し付ける。</p> <p>例えば、ベースロード電源22%の件。原発を使わなければ、電気料金が上がると、住民を脅すような説明のみで、何の根拠も示さない。</p> <p>また、福島原発事故の原因は、まだはっきりしていないにもかかわらず、津波との結論が規制</p>	<p>福島原発の事故を忘れてはならない。あのような過酷事故を起こして、未だに10数万人の人々が避難生活を余儀なくされている。これまで紡いできた人生も、生業も、ふる里も奪われて、苦しんでいる人達のことを、国や規制委員会、そして四国電力の人たちは、どのように観ているのでしょうか。まるで事故など、どこ吹く風といった感じ。</p> <p>今なすべきことは、何よりもこの人たちの生活をもとに戻すために、すべてをかけるべき時だと思います。オリンピックも、普段なら喜びたい！しかし、「汚染水は収束している」などと、国の最高責任者が、世界に向かって嘘をついてまで、呼び寄せるなど、人の道を外れています。</p> <p>このような事故がなぜ起こ</p>	<p>日本は、世界の中でも最大の地震国です。しかも伊方原発周辺は、北側には、世界でも最大級の活断層・中央構造線が走り、南側には南海トラフによる巨大地震、さらに伊予灘及び日向灘周辺は、地震の特定観測地域に指定（1981年）されている危険地帯です。そのような危険地帯に、絶対に設置してはならない原発を3基も持ってきてしまった。しかも現代は、地球規模で地震の活動期に入っているという。どこからみても、伊方原発を再稼働できるような状況ではないと思います。</p> <p>1995年に阪神淡路大震災が起こって以来、全国で想定を大きく上回る地震が起こっています。東日本大震災もその一つです。今後どのような巨大地震がこの地域を襲ってくるか、本当に心配です。今こそ、原発</p>	<p>今回の説明会のなされ方は、市民を差別する非民主的なものでした。市民は決して納得しないでしょう。広く市民の声を聴くとの市長の言葉とは、真逆のなされ方でした。これからでも間に合います。広く市民の声を聴く方法を考え、実行してください。危険だという学者の声も、市民に聴かせるべきです。</p>

<p>庁から出たとか。専門的な科学者の多くが、津波の来る前に、配管が壊れていたことを証明する資料があるにもかかわらず、そのことを全く無視して、自分たちに都合のいい結論だけを押し付ける。全く、納得も、信頼もできない内容でした。</p>	<p>ったのか。それは、事故は起こらないとの「安全神話」にどっぷりとつかっていた国や電力会社、そして原発に関わる企業の人々が、科学の目を曇らせ、「自主・民主・公開」という原発の基本的な原則を踏み外していたからであり、その責任は大変に重いものです。しかし、誰も責任を取ろうとしていません。ついに、電力会社の幹部が訴えられました。当然のことであり、さらには、これを国策として推進してきた国の責任も問われなければならないはずです。</p> <p>しかし、どんなに責任を取ろうとしても、原発の事故は元には戻りません。この事故から学ぶべきは、「核と人類は共存できない」ということではないのでしょうか。原発の再稼働など、あってはならないことです。</p>	<p>は止めたまま廃炉にするべきです。</p> <p>原発は、この地域の数少ない雇用の場だから、再稼働をという声があります。しかし、事故が起こってからでは、どんなに悔やんでも後の祭りです。100分の1、いえ1万分の1の確率であろうとも、危険性があり、住民がそろって避難することになるかもしれないような危険なものを動かすべきではないと思います。避難するのは住民ではなく、原発こそが出て行くべきです。出て行くところがないなら、廃炉にするしかありません。廃炉には何十年もかかり、雇用はなくなりません。なぜこのことを、声を大にして言わないのでしょうか。電力関連の企業利益を守るために、住民を犠牲にすることなど許されません。さらに、安全な、再生可能エネルギーの開発を進</p>	
--	---	---	--

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

			<p>めれば、雇用は逆に増えるはずで、何の心配もありません。企業の論理に負けてはならないと思います。特に、自治体の首長には、住民の安心安全を守るという責任があります。原発の再稼働は認められない。この3年半の間、電力は十分足りています。余った電力を関西電力に売っているほどゆとりがあるではありませんか。廃炉にする決断が今求められていると思います。</p> <p>使用済み核燃料の処理の問題、住民の避難計画の実効性等々、問題は山積しています。原発事故の特異性は、福井判決で示されたように、人間の幸せを破壊するものです。経済と比較すること自体が間違っていると思います。</p>	
35	1人でも多くの市民参加に工夫すべきでは？	自然災害に対する完全防御は不可能！！（想定外の災害）	再稼働しないでほしい。	
36	8月6日に出席したのですが、内容は私には理解するには難し		再稼働は反対です！ いずれ廃炉にしないといけ	地震・津波以外でも何が起こるかわかりません。

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	<p>く、また質問も内容のみというのは意味がないような気がしました。ただ「説明会を開きました」というだけで形式的な会に思えました。再稼働前提の話でした。</p>		<p>ないので、その時期が早まるだけ。 自然エネルギーを利用する方向で発電してほしいと思います。</p>	<p>早い決断をお願いします。</p>
<p>37</p>	<p>原子力規制委員会、エネルギー庁ともに、専門的な内容を出来る限り平易な言葉で説明していただきましたが、それでも内容を理解するにはかなり難しく、さらに最も大切な安全性を確認する事は不可能でした。周知のように、原発に関しての絶対的な安全という概念が、福島事故後決定的に崩れた今、どんなに厳しい安全基準で規制し、その物差しに合致した内容だと説明されても、われわれ市民の多くが納得できる安全性は存在しないのではないかと考えます。</p> <p>従って当地域においても、万一の事故を懸念して即刻原発をなくすべきと主張する方々、一</p>	<p>何よりも懸念するのは、人間のすることに完璧はないという事実です。福島の教訓を最大限に漏らさず活かし、完璧と思えるシステムを構築したとしても、それを運用するのは人間です。運用者がそのシステムを完璧にこなしていく保証など誰も出来ない。まして天変地異の最中に平常心でいられる人間など存在しません。安全性を二重にしたから、三重に備えたから安全と誰が断言できるでしょうか。</p> <p>結局、ひとまず安全と、このあたりに落とし所を設けて先に進みましょうというのが今の国の考え方の基本だと思っております。経済性も大切、地球温</p>	<p>もう永遠に戻らない福島の現状を見聞きするたびに、原発事故のもたらした暗澹たる不幸を思わざるを得ない。やはり原発再稼働はすべきではないと考えます。</p> <p>県民の多くは再稼働の是非について、確たる意見や理解を持ち得ているか定かではないと思います。</p> <p>本来、伊方の再稼働は、鹿児島島の川内原発の再稼働と切り離して考えるのが当然なのに、順番だからという国＝推進派および電力会社の思惑が見て取れます。日本に存在する原発ひとつひとつに明確な判断基準があつてしかるべきですが、川内が稼働したから伊方もと</p>	

<p>方では地域経済、エネルギー問題から一刻も早く再稼働を望む方々と、真っ二つに分かれているのが現状です。今回ご説明いただいた内容は、反対派、推進派、そのどちらの側にも、本当の意味での理解はされず、受け容れられていないのではないかと感じました。</p>	<p>暖化も深刻ですよ、という納得しやすい常とう句も加えつつ、とりあえず安全だと目をつむって前に進もうというのが、今回の再稼働の動きだと思わざるを得ません。</p>	<p>思っている人が少なからずいますし、現にそのように事が進んでもいる。</p>	<p>また一方で我々市民には、国が進める方針には殆ど抗う術を持ち得ないことがよく分かりました。原発再稼働が、国策の既定路線となり、如何に原発と付き合い合っていくか、その次元においてのみ考え、意見を述べ合うことができ、今回の説明会もその延長線上にあったと思います。結論から言えば、それしか選択肢がないのだとすると、今回の説明会自体、市民にとっては殆ど意味をなさないとも言えます。</p>	<p>政府が発表したコメントで、再稼働するかどうかは電気事業者が決めることだ、というのには驚きました。事故が起きれば、政府が真っ先に対応しても付け加えていましたが、次に福島並みの過酷事故が起きれば日本はほぼ終わる可能性もある。そんな大事なことの決定権を、なぜ一企業である電気事業者が持っているのでしょうか。なぜその尻拭いを国民の税金で賄わなければならないのでしょうか。これでは福島の前と全く進歩していない、教訓も何も活かされていないと思うのは私だけでしょうか。</p>	<p>原発がこの地域の経済的発展にどれくらい寄与し、豊かさをどれ程もたらしたかは、数値で知ることはできませんが、ひとつ確実なのは、天災によるか人災によるかに関わらず、ひとたび過酷事故が起これば、この地域の経済はおろか、市民生活そのものが確実に終焉を迎えざるを得ないという事です。その覚悟をもって再稼働を進めているとは、自分にはどうしても思えません。事故や天災は滅多に起こるものじゃない、杞憂に過ぎない、世界一厳しい安全基準をクリアしているのだから等々、これらのお題目で、ある意味、心をごまかしながら再稼働を黙認するという方向性になってしまっている。</p>	<p>どうすれば良いかではなく、こうしますとの結果に関する説</p>	<p>「安全な原発」という表現自体が矛盾する内容を含んでい</p>	<p>県も伊方町もまだいわゆる地元同意を表明していませんが、</p>
--	--	--	--	--	--	------------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

<p>明に終わった印象しか残りませんでした。</p>	<p>るなら、やはり原子力発電に頼ったエネルギー政策はできる限り早期に収束させるべきです。</p> <p>日本は狭い国土の中に多くの活断層と火山がちりばめられています。その意味でも原子力発電には不向きな立地であり、使用済み核燃料等の廃棄物を安定的に永久保管するのに適した地層も皆無に近い。化石燃料に頼らざるを得ないとすれば、そちらの技術革新を進めて効率化、CO2 排出抑制をはかり、同時に国民のライフスタイルを見直して省エネを徹底して行うなど、再生可能エネルギーが独り立ちできるまでをしのいでいかねばなりません。険しい道とは分かっていますが、それでも原子力に頼って壊滅的な危険と隣り合わせで生活するリスクを冒すよりは、将来この国を背負って立つ次世代のため、真剣に取り組まねばな</p>	<p>同意に反対する意見や、少数の意見にもしっかりと耳を傾け、国の意向におもねる事なく、県民の安全を最優先に考え、真に自立した姿勢を貫いていただきたい。</p>	
----------------------------	--	--	--

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

		らないと考えます。		
38	<p>8月5日の説明会のみ感想です。</p> <p>福島事故の教訓を生かし、これでもか、これでもかといった二重三重の対策がとられており、だから規制基準に合格したのかとも思うが詳しいことは理解できないので安心と不安がつきまとう。</p>	<p>いくら安全、安心ですと説明されても我々の時代は何も起こらないかも知れないが、将来の保証はない。</p> <p>一度事故が起れば、無色、無臭の恐ろしい放射能を止めることは難しい。複雑な気持ちである。</p>	<p>3号機のみ再稼働にとどまるのか、老朽化する1、2号機についてはどう対処するのか。そこらを具体的に知りたい。</p> <p>1日目だけの参加だったので2日目にその話が出たかも知れないが…</p>	
39	<p>専門用語が多く、時間の無駄だと思う。</p>	<p>原子力発電所を稼働させる為に、何をすべきか。</p> <p>私は第一に、地元住民の理解を得る事だと思う。</p> <p>理解を得る前に何をすべきか考える時、地元住民と一緒に生活し、一緒に家族と家族を結ぶ絆の構築だと考えます。</p> <p>仮住まいでは、決して信頼も信用も生まれないと確信します。</p>	<p>規制委員会が再稼働について、研究と英知を集め、これ以上ないと考える安全対策としての意見交換であると思う。</p> <p>私は、自然災害による安全対策は充分であると考えているが、2点問題提起をしたい。</p> <p>(1) 7月29日愛媛新聞三面中村知事の発言で「本当に国が最終的に責任をもって対応するのか覚悟を見極めることが不可欠だと考えている」…私は一番大切な事だと思います。</p> <p>(2) 原子力発電が如何に安全</p>	<p>以前、中村知事が「四国電力の本社を愛媛県に…」との新聞報道があったと思う。</p> <p>伊方原子力発電所は四国電力(株)にとって、愛媛県や地方(西宇和郡・八幡浜市)の理解なくして稼働出来ないと考えます。</p> <p>発電所の稼働が四国電力(株)にとって大変大きい事業の一端だと推察されるのに、何故、本社移転が出来ないのか不思議に思います。</p> <p>又、八幡浜市、西宇和郡の過疎対策に協力する意味でも、四</p>

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

			<p>であっても、その施設を動かすのは人間である。テロ対策については説明があったが、私は原子力発電を稼働させるのは四国電力の社員であり、その社員の一人ひとりを今後 10 年、20 年と平常心、人間力を維持し、不注意その他（怨み、偏見、精神障害、宗教など）の原因による誤作動のリスクをゼロにする事が可能か不安です。</p>	<p>国電力（株）の社員の生活拠点（現在は単身赴任者ばかり）家族全員で移住する事を、会社をあげて協力をお願いしたいと考えます。</p> <p>地域に生活、地元に関わり添ってこそ、原子力発電所の稼働を理解してもらう近道であると思います。</p> <p>今回の戸別訪問でも大半の社員が高松からの応援だと知り、私は間違っていると感じました。</p> <p>”蚊帳の外の者に 蚊帳の中の事はわからない”と私は思います。</p>
40	<p>伊方原子力発電所の再稼働については、原子力規制委員会の審査が終了し、再稼働に向けて動いていますが、説明を聞いて、設備等の審査基準については、多種多様であり、技術的にも非常に高度なので、一般市民には中々理解しがたいものがあります。規制委員会の審査に合格し</p>	<p>国の方針として原子力発電所が再稼働ということであれば、高レベル放射性物質の最終処分の問題、古い施設の廃炉の問題、核燃料サイクル事業等まだまだ、解決しなければならぬ問題も多数残っていると思います。それらも含めて国が責任を持って早期に解決しても</p>	<p>現在伊方原子力発電所には、再稼働してもしなくても、核燃料があることに変わりがなく、3号機が再稼働したとしても、1・2号機の方向性が出ておらず、いつまでも古い施設をそのまま放置していることは非常に心配であり、廃炉にするのか、再稼働の方向で行くのか、</p>	

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	<p>たということは、設備面においては、ある程度安全性が確保できていると評価できると思います。但し、あくまで機械は人が使うものであり、ヒューマンエラーが発生しないよう十分な訓練、指導が必要だと思います。また、地震、津波等に限らず、火災等何らかの事故が起きた場合、基本は事業者責任において、消火活動等適切に対応してもらうものと思いますが、そのための装備等をかなり整備しているようですが、今まで以上に操作等十分な訓練を行い、発災時にはきちんと活用できるようにしてもらいたい。</p>	<p>らいたい。 また、直ぐには難しいかもしれませんが、将来的には、原子力に頼らない他のエネルギーへの移行を早急に着手すべきだと思います。</p>	<p>早急に方針を出してもらいたい。</p>	
41	<p>エネルギー庁 四国電力の有識者会議 説明会に、あれだけの資料を出されたのに対し、只読み上げるのみ。充分では無いと思います。 次回から、前もって資料を出されて、説明して頂いた方が良</p>	<p>絶対安全とはいえないし、事故ゼロともいえないし。 規制委の審査に合格した、原発も万全ではない。 事故が起きるリスクはある。誰が最後の安全性を確認して守ってくれるのか。心配です。</p>	<p>原子力発電については万が一事故の際の補償問題、廃棄物の処理問題など深刻など 現代、賛成とも反対ともいえないですね・・・・・・・・</p>	

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	<p>かったかと思えます。</p>			
42	<p>5日の説明会に出席しましたが、内容が専門的すぎて、資料（とくにグラフ）など見方がわかりませんでした。事前に資料が配られていて目を通すことができているならば、もうちょっと理解できたかもしれません。</p>		<p>安全対策に関して、「テロ対策」的なものではありませんでしたが、個人的にもミサイル対策とかそういうものは必要ないと思いますが、最近話題になった「ドローン」による空からの「悪意あるいたずら」に対する対策は必要ではないかと思えます。（首相官邸にドローンが入りこんだように、3号機のでっぺんにドローンがのっていた、なんてことになると、実害なくとも、「安全対策がズサン」とかいわれそう。）</p>	
43		<p>福島のような事故が起こることが無いよう、更なる安全管理に努め、必要な措置を講じることが必要と考えます。</p>	<p>再稼働については、大城市長さんにお任せいたします。</p>	<p>【余談】 再稼働への流れは止めることはできないなあ。</p>
44	<p>東北地震の被害を思い出すにつけ、その後の原子力のすさまじさが、我々にとって大変重要かと思ひ、懸念しております。まず、風評被害は、愛媛県、八幡浜の水産業にとって、おそら</p>	<p>代用エネルギーの推進しかありませんが現在は賛成のつもりです。只、サラリーマンのような責任のとり方には、腹が立ちます。答弁もしかり会社をやめれば、知らないと言う事の</p>	<p>賛成 40% 責任の所在がはっきりしない前、再稼働について大不安であります。</p>	

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

	<p>く死と言う事に近いかと思えます。国であれ、四国電力の責任のあいまいさがいまだに不信感をぬぐいきれません。エネルギーの推進は、頭ではわかっていますが想定外ではもはやありません。責任の所在をもう少しはっきり回答願えればと思っています。</p>	<p>ように感じます。</p>		
45		<p>電気を利用する者として活用することに反対ではないとしても安全運転を願うより祈りの気持ちです。</p> <p>事故時の周辺に対する被害の大きさは 1 電力会社で対応は出来ないことが福島原発事故で証明されています。</p> <p>いくら安全と言いながら廃棄物処理方法一つが少しも完全でないことが一般人の普通の心配ではないでしょうか。</p>		
46	<p>エネルギー政策における原子力発電について、資源エネルギー庁から我が国のエネルギーの今を他国との比較にて知ること</p>	<p>原子力立地地域のみならず、電力消費地も対象に、草の根的な広聴・広報活動をなお一層実施するべきではないか。また、</p>	<p>災害の少ないまち八幡浜市は「平和ボケ」で「万一のこわさ」を痛感することのできない市民生活になっていると思う。</p>	

	<p>ができた。</p> <p>また、原子力発電を取り巻く状況やエネルギー政策における原子力発電の位置付けも学んだ。</p> <p>伊方発電所 3 号炉に関する審査書の概要と安全対策に対し新規規制基準の基本的な考え方や審査の経緯等、ハードルの高さや安全への自覚と責任への取り組む姿勢を感じる事ができた。</p> <p>2 日間にわたっての説明会は、意義のあったものと思うと共に有識者の方々の出席が少なかったことを残念に思う。</p>	<p>慎重派・賛成派・反対派それぞれに対し、ていねいな議論の場をもつ必要があると思う。</p>	<p>しかし福島第一原発事故から復興を見る時、不安はぬぐいさることのできない出来事である。</p> <p>稼働しなくても、伊方には原発が存在する以上、「万一」は同じことだが、安全対策への強化を信じるしか私達市民はないようだ。でも、みかんとさかなの町である当市を思う時、保障の見えない現状では、心から賛同することは難しい。しかし、商業に目を向けると、疲弊している事実は、現実であることも忘れてはいけないことである。</p>	
47	<p>人数・人選方法・場所等々といささか問題が残るけれど、(まあ、どういう形をとられても、ベストは望めないとは思いますが、もう少し、多くて良かったのでは、と思います。</p>	<p>※田中規制庁（委員長）氏言、やはり、どこまで行っても絶対’安全’に 現世（現実）に於て、絶対という事は絶対に無い、でもどう向き合っていくか!! あつてはならない、万々が一事故が起きた場合、最終的には’国’が責任を…ということ</p>	<p>再稼働については、大変デリケートで現実的には非常に機微なる問題であるにとらえています。一度事故（あの、東日本大震災のような）が自然災害が起きると、否、それ以上の想定外の…東南海地震（想定される）がもし…という（将来とも）に起きてもらいたくない</p>	<p>できる限り（もっともっと）覚書ではなく「協定」に向けて一層の御尽力を願っています。片方では原理原則論で行くと、経済性の現実問題もあるかと思えます。共存が出来ればこしたことはないけれど！？（リスク）が</p>

原子力発電等に関する市議、市民有識者への意見照会の結果（公表可とされた方のみ。順不同）

		を強く求めて頂きたい。そこを 又時の'総理'は明確に国民に 向けて又、設置（付近、周辺…） 当該住民にはメッセージと確 認を望むものであります。	が？）重ねていずれにしても、 最終的には、国が補償をと言 うことを国民にメッセージがほ しいなと思います。	
48		ありません	ありません	